

寺報

No.673

令和5年9月

蓮華寺
發行

御聖訓

仰ぐところは釈迦佛、信ずる法は法華經なり。

『孟蘭盆御書』



(解説)

日本は戦後の苦境を乗り越え、各々が豊になろうと努力を重ねた結果、経済大国とまでいわれるようになりました。

しかしその反面、目標が達成された頃から、心が貧しくなったようです。

世間では毎日のように、事件・事故があらゆる場所で起きています。

育児ノイローゼの母親が我が子を虐待したり、心を病んだ若者が刃物を町中で振り回したり、また介護に疲れた子が親を殺したりしてあります。

これらの人達の共通点は、廻りに相談する人や、手を差し伸べる人、また支えていく信仰とかがなかった模様です。

日蓮大聖人はこういう時こそ、お釈迦様の正しい法華經の教えにしたがい、お題目の修行をする事をお勧めになったのです。

どうか、個人の幸せのみを求めただけではなく、他の人にも役立つように努力して欲しいものです。

『秋彼岸会』のお知らせ

九月二十三日(土) 中日

場所…小本堂

*法要

午前八時より午前九時まで

*法話

約十分間

お経・・・訓読	法話
二十三日 如来神力品第二十一	住職 上人

②『秋彼岸会』の法要は中日のみ一日ですが、ご先祖様と仏様のご供養は、残り六日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きます。



秋彼岸会法要次第

- 一、道場偈 (僧侶が唱えます)
- 一、勸請 (導師が唱えます)
- 一、開経偈 (無上甚深)
- 一、お経 (如来神力品第二十一・日本語読み)
- 一、運想 (唱え奉る妙法は)
- 一、お題目 (南無妙法蓮華經)
- 一、宝塔偈 (此経難持)
- 一、回向 (導師が唱えます)
- 一、お題目 (南無妙法蓮華經・供養の読上げ)
- 一、お経 (如来寿量品第十六・漢字読み)
- 一、お題目 (南無妙法蓮華經)
- 一、付回向 (導師が唱えます)
- 一、四誓 (衆生無辺誓願度)
- 一、お題目三唱

【法話・・・約十分間】

③お経は如来神力品の訓読(日本語読み)と如来寿量品【自我偈】の真読(漢字読み)ですので、お経本を用意して下さい。

お寺からのお知らせ

*先祖供養(一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

*追 膳(一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、お預かりしていますお骨の前に一週間上がります。なお、「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けしますが、準備の都合上、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。



日蓮宗 寺院参拝と懇親会のお知らせ

日 時…十月三日(火)

集 合…蓮華寺・午前七時三十分【時間厳守】

バ ス…出発…午前八時

場 所…参拝…午後五時頃予定

懇親会…『妙信寺』(五戸町)

【タオルは各自持参の事】

買物物…『八食センター』

費 用…大人 九、〇〇〇円

募 集…④開帳料、入館料、昼食代、交通費等を含む

持 参 品…数珠、聖徒団のタスキ、霊神符

注意 事項

- 一、妙信寺での供養・祈願は、当日の朝受付です。
- *供養・祈願・・・各五百円

一、必ず霊神符【毎月のお守り】を着体してきて下さい。

一、参加者は、全員聖徒団のタスキを使いますのでこの機会にお求め下さい。三千円(事務所迄)
 (注)当山では『妙信寺』は初めての参拝となります。

最上稲荷大祭

九月二十二日(金)

午後一時より

於：蓮華寺稲荷堂

『稲荷』という名は字の如く稲の神であり、農業の神という意味です。それが転じて商売繁盛・家内安全・開運の神様になったのです。



- * 祈 願 . . . 八百円
- * 御法楽 . . . 八百円
- * 御神体御法楽 . 千円

◎それぞれお申込みの方には、最上様の『お札』^{ふだ}を差し上げます。
 ◎御神酒・お供物も受付けています。

最上稲荷様

例え話にしては、あまり好ましくはありませんけど江戸時代のしゃれ言葉に「伊勢屋、稲荷に犬の糞」というのがあります。

これは、伊勢屋という名前のお店と、稲荷様のホコラは、犬の糞みたいはどこにでもあるという例えですがそれほど、当時は稲荷信仰が盛んであった事が分かります。

今でも、関東・関西のデパートやビルの屋上などでもよく見られますし、いわゆる分霊をお祀りした社は全国で三万を越すといわれています。

さて稲荷の語源は、イネナリ、イネニナルが転化したもので、元々は稲の神であり、農業の神でありましたが、それが後に転じて、商売繁盛・家内安全・開運の神となったわけです。

最上稲荷様を正式には、『最上位経王大菩薩』^{さいじょういけいおうだいほさつ}といひまして、経王とはお経の中の王様、つまり法華経の事で、即ち法華経に説かれます「御本仏」のお力をお借りして、我々衆生を救済してくれます最上位の菩薩様という意味です。

ですから、当山の最上様も、同様に素晴らしいお力を持つた守護神なのです。

檀信徒研修会のお知らせ

☆九月三十日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間・・・午後七時より

場所・・・小本堂(イス席です)

持参品・・・聖典(事務所)・数珠・太鼓(所有の者)

*月一度の修行ですので、この機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

『提灯』の募集!

当山で『お正月』『鬼子母神大祭』『御会式』に下げます『提灯』(トロー)を募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

九月の行事

- 一日(金) 『盛運祈願会』 午後一時より
 ・ 毎月のお守り「霊神符」の交換の日です。
 ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
 ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
 ・ 檀信徒の皆様は、必ずお守りを持ちましょう。



- 三日(日) 甲子「大黒様の日」 朝のお勤め中
- 十三日(水) 『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より
 ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
 ・ 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
 ・ 日蓮大聖人のご報恩を忘れずに参拝しましょう。
- 二十二日(金) 『最上稲荷大祭』 午後一時より
- 二十三日(土) 『秋彼岸会』 午前八時より
 ② 『秋彼岸会』の法要は、中日のみです。
- 三十日(土) 檀信徒研修会『唱題行』 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

『秋彼岸会の追膳』

- 二十日(水)〜二十六日(火) 迄一週間
 ② 『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時〜七時半迄】夕【午後三時〜五時迄】ですので、お手伝い出来ます方は時間迄にご集合下さい。
 ③ お寺のお手伝いご希望の方は、どなた様でも歓迎致しますので、どうぞお気軽にお出で下さい。

二十二日(金) 『最上稲荷様大祭』のお手伝い

- 教宣部男性 午前十時半より
- 教宣部女性 昼 十二時より
- *テント・のぼりの設営・供物・祈願の受付等のお手伝い、並びに後片付けをお願い致します。

④ 各部員はご奉仕の他に、『秋彼岸会』の午前八時から、『最上稲荷様大祭』の午後一時からの法要に積極的にご参拝して下さい。

◎ 教宣部長・杉淵昌三

『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔』『水子観音像』『動物供養塔』の(秋彼岸供養)は、**九月二十二日(土) 午前十時半**より、まず大本堂にて読み上げとご供養をし、その後境内にて再度ご供養致しますので、ご一緒に参拝出来る方は時間までお越し下さい。時間は四十分程です。

霊断

ご自分や家族の中で、色々な困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて解決、ご指導しますのでご安心下さい。
 なお宗旨・宗派は問いません。 ☎ 776-5840

『聖徒団会員』の募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の【家内安全】をご祈願致します。その他、御寶前のお花・聖徒タイムズ(新聞)・寺報等の援助などに活用しています。
 会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『位牌壇』の募集!

◎ お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖様や仏様は今後代々に渡り守り続けられます。
 ◎ 仏様のご命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎ 特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎ 最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めず仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきています。それが大丈夫です。

◎ 一年以上使用の方で、現在空いています上位の位牌壇をご希望の方には、数がある限り無料でお譲りしています。

ですから、三席から特席に上がる事も可能です。詳細は事務所まで!

秋 彼 岸 会

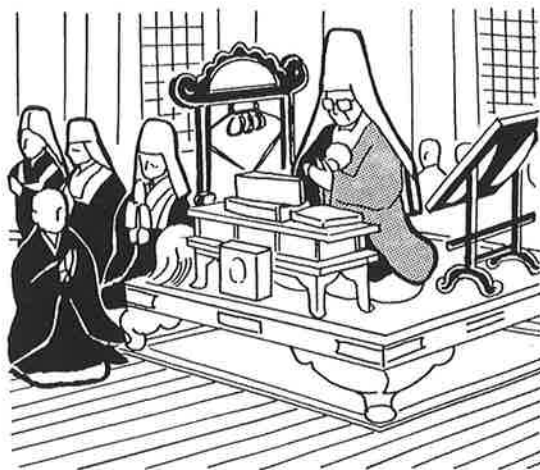
九月二十三日(土) 中日

於：小本堂

法 要 午前八時～九時まで

* 『法要』は彼岸の中日のみですので、檀信徒の皆様も
ご注意の上、ご参拝下さい。

残りのご供養は「朝のお勤め」で読み上げします。



追 善 供 養 (一週間)

先祖代々・各霊位 800円

追 膳 (一週間)

位牌堂・永代供養堂 . . 3,500円

*法要に参拝し、お経・お題目を唱えましょう！